

第2回東海村議会報告会

議会の活動が身近に感じられるように ～情報発信と住民参加～

11月8日・11日、第2回目の議会報告会を真崎・石神コミュニティセンターで開催しました。参加者は両日とも約40人。昨年度決算に対する審査内容や各委員会での請願審査、調査視察等の活動状況について報告しました。後半は、住民の皆さんから議会や行政に対するご意見をいただきました。

各委員会から報告

◆一般会計予算決算委員会（9人） 通年で審査

- 前年度決算 予算編成時に事業目的の明確化、内容を精査することなど、意見を付けて認定すべきとした。
- 本年度補正予算 ①原子力事業者の人材確保②特別養護老人ホームの設備改修に伴う補助金の増③空き店舗利用に取り組む真崎商店会への支援事業——などの補正予算を審査し、可決。

◆特別会計予算決算委員会（10人） 通年で審査

- 9つの特別会計（介護保険、区画整理、下水道など）と2つの企業会計（水道、病院事業など）について審査。
- 前年度決算 ①高齢化が進み歳出が増加傾向。介護サービスのより効果的な運用に努めること②滞納の縮減③区画整理の早期清算——などの意見を付けて認定すべきとした。

◆総務委員会（6人）

- 今年度は「平和安全法制（戦争法案）の慎重審議を求める意見書提出を求める請願」を不採択とすべきものとしたほか、2件を審査。
- 村内商工業者を支援するためのコーディネーターを置く「株式会社ひたちなかテクノセンター」、常陸那珂港の災害復旧の現状について調査視察した。

◆文教厚生委員会（7人）

- 今年度は「教育予算の拡充を求める請願」を採択とすべきものとしたほか、2件を審査した。
- 美浦村の生涯学習システムを調査視察した。「(仮)歴史と未来の交流館」が計画されているため「福井県立こども歴史文化館」や「兵庫県立考古博物館」などを視察し、来館してもらう工夫やサポーターの必要性などを学んだ。

◆建設農政委員会（7人）

- 地域自治組織の活動内容を調査するため、役場の職員が自治会に派遣されている岡山市や、高齢化の進む兵庫県朝来（あさご）市での協働によるま

議会活性化特別委員会の活動報告

議会をより活性化し、開かれた議会を目指すことを目的とし、平成26年3月26日の設置以来、24回の委員会を開催し、議会運営、住民参加などを検討してきました。

主な成果

- ・議会報告会の開催
- ・村政に関わる陳情は請願同様に委員会に付託
- ・委員会の傍聴を原則非公開だったものを原則公開
- ・議員定数と議員報酬については講義を受けて、今後の検討課題としました。

ちづくりを視察した。

- 阿漕ヶ浦周辺整備構想や部原地区の現状と今後について説明を受けた。

◆原子力問題調査特別委員会（19人）

- 平成24年3月1日に設置。
- 具体的な避難計画の策定ができないかぎり再稼働は認めないとする請願を継続審査中。
- 低レベル放射性廃棄物埋設施設について、村長から審査依頼を受けて継続審査中。

◆議会報編集委員会（7人）

- 議会だよりは平成22年8月に創刊。年4回発行。
- 「伝える広報」ではなく「伝わる広報」を目指して編集している。

◆議員会（20人） 議員の任意の親睦会

- 8月6日に橋本昌知事をお招きし、県政についての講話をいただき、懇談した。
- 関東東北豪雨により被災した常総市に義捐金を手渡した。

住民の意見

- ・初めて参加したが、委員会で行っているか確認できた。
- ・農業、物産、観光で東海村を活性化する必要がある。
- ・阿漕ヶ浦周辺の再整備は大変喜ばしい。水の浄化、自然を生かしてほしい。
- ・参加者が少なく残念。積極的に参加し議員を知ることが大切。
- ・住民に分かりやすい用語で話してほしい。